

<h1>ひろば</h1> <h2>大代</h2>
No.456
平成29年7月号
大代市の人口 (H29.7.1現在) 大代市 35,703人 内大代町 371人 男 165人 女 206人

十七夜の思い出

上市 大前春江

今から80年位前、私の小学校の頃の思い出です。

7月17日・18日は大家八幡宮の夏祭り十七夜です。学校は午前中で午後はお休み、御神幸式の祭典に5・6年生、高等科の生徒は全員参加しました。

本殿でのお祭りが終り、御輿に続いて氏子総代、村の有志の方(有志の方達は紋付羽織に袴姿)一般の人などたくさんの方の行列で町を練り歩かれていました。

唐櫃担ぎの二人は高等科の男子、成績優秀な方が選ばれておられました。

十七夜神様は暴れ神様と言われ、御輿担ぎの皆さんもお祭りとお酒も充分入っていて町中狭しと暴れ回っておられました。今の様にお酒の規制はなかった時代です。



獅子の頭噛み(一年間無病息災でありますように！)

十七夜になると母が朝早くから漉し餡入りのマキをもろぶた一杯にこしらえて、食事兼おやつでした。今頃の様子におやつも豊富な時ではありませんから、とても美味しく食べていました。

十八日は、お百姓さん方の泥落とし、午後は田植囃しが奉納され町を廻つてとても賑やかでした。露店もたくさん並び近隣の村からも人がたくさん来られ、一時は通り抜けも大変でした。

お祭りの小遣いと言え一銭、二銭が通用する時代でした。

夜は公会堂で旅役者の芝居で楽しみました。以上、大正生れの私の思い出です。



賑やかだった境内で

昔の光今いずこ

上飯谷 門脇祥造

そうだ！今日は十七夜。夏祭りだ。私の頭の中のスクリーンに写し出される映像がある。しばし「夢の中」。

浄土寺の石段からよく見えた昔の大家の町の賑わい。道いっばいの露店など。いろんな種類の店が出ていて凄く賑わいで、町がいっばいの人で溢れ、学校も休みだった。

新しいわらざうりを履いて30円もらって気もそぞろで、飯谷から歩いて祭りに出て、アイスキャンデー一本買って、露店を冷やかしたり、親戚の河野のおっちゃんのを桃を買ったりして、日暮れまで楽しんだ。そして公会堂で、7時から始まる芝居一座の「国定忠治」のチャンバラを観て、自分にでもなつたつもりで家に帰り、一日を楽しんだものだ。

お寺の鐘とともに「夢覚めて」
今は猫の子一匹いない。大家の町がどこへ消えたのか、橋本商店、山根写真館、永井散髪屋、渡や病院、はまよさん(魚屋)、松野精米所、市原酒店：思い出すだけでも10店舗位はある。

時代の波に消えてしまった大家の町、何時か昔の賑わいが還るだろうか？無理だろう・・・

どんなに世の中変わろうと、時代が変わろうと、子供のころ過ごした町の思い出は、皆の頭の中のスクリーンに残っていくでしょう。

今暮らしている大代町、慈しみを大切に、たとえ町が無くなるうとも頑張つて生きていきましょう。昔を夢見るよりか、未来を夢見て頑張つて生きましょう。



西臨寺山門解体で 明らかになったこと

センター長 佐藤哲朗

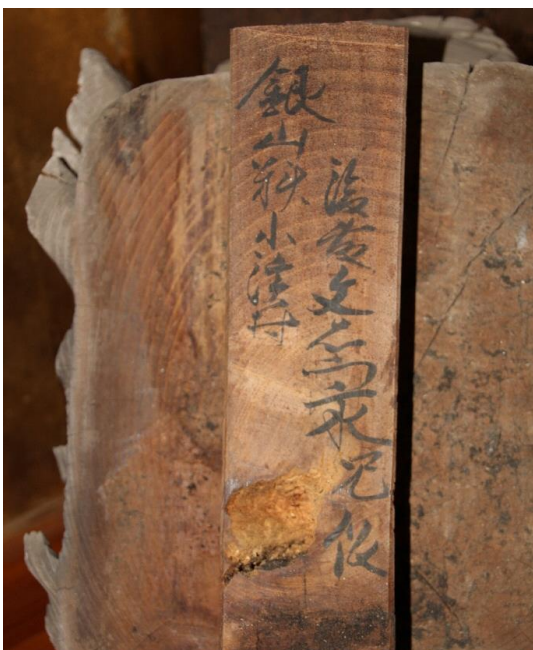
5月に解体された西臨寺の山門は、明治5年3月14日に発生した浜田地震により、本堂・庫裏は倒壊し、歴史を記した古文書等全て焼失しました。

当時山門は唯一残った建造物でした。詳しい歴史が分からないままに、300年近い歳月を刻んだとされていきました。

解体工事は足場を組み、石原建築(祖式町)の若い大工さん達により手作業で進められ、慎重に瓦や柱を取り外していきました。何か歴史が分かる棟板や墨書が出てくることを期待しながらでしたが、途中での発見はありませんでした。

しかし最後に山門正面の東側を飾る彫刻、木鼻(※獏)の取付け部(柄ほぞ)に『銀山料(領)小濱村 後藤文右衛門』との記載がありました。

後藤文右衛門は温泉津町出身で宝暦年間頃に活躍した大工です。宝暦11年(1761年)建立の西田の水上神社本殿の棟札に、棟梁の一人としてその名が記載されています。



また、宝暦9年(1759年)の温泉津町
恵光寺三十番神堂建立にも、かかわった人
物だと分かりました。

今回の解体工事で山門は、温泉津町小浜
の大工後藤文右衛門がかかわったことが
判明し、彼の活躍時代から類推すると西臨
寺の山門は西暦1760年頃に建立され
たのではと思われまます。

※猯(ばく)は、中国から日本へ伝わった
伝説上の生物。体形は熊に、目は犀さいに、尾
は牛に、足は虎に似るといふ。人の夢を喰
って生きると言われているが、この場合の
夢は将来の希望の意味ではなく、レム睡眠
中にみる夢である。悪夢を見た後に「(こ
の夢を)猯にあげます」と唱えると二度と
見ずにすむという。

||お知らせ|| 大代地区社協から

会長 高村 清



(1) さくらんぼ教室に参加して

7月18日、さくらんぼ教室(高齢者のふ
れあい事業)に初めて参加しました。これ
まで参加の気持ちはありましたが、自己都

合等を優先し失礼していました。

さくらんぼ教室の今回の内容は次の通
りでした。9時30分頃、利用者の皆さんが
大代まちづくりセンターに揃われました。

早速、お茶を飲みながらの世間話。特に
前日が十七夜祭、そして当日の十八夜祭の
話題となり、昔と現在との変わりよう、ど
うしてこうなったのか、時代の流れに溜息
が聞かれました。(ちなみに、往時の祭り
については、本紙面にて、その状況が文書
に再現説明されていますので、そちらに譲
ります)

その後、谷口陽子氏/大代地区社協副会
長/看護師及び介護福祉士、ケアマネ等有
資格者による、大田市役所作成の「085
48体操」を行いました。(今回は、一週
間前に46インチ画面の液晶テレビ、DVD
の再生機を購入したものを使用、利用者の
皆さんから、「初めての「08548体操」
であったが、前面のテレビを見ながらであ
ったので、分かりやすく体操ができた」と
の感想を頂き、私もテレビ導入に個人的に
充足感を感じました)

次に、谷口陽子氏より、夏における体の
水分の状況、そしてその補給の仕方につい
て講義がありました。特に年配者になると

体が水分を欲しているかどうかについて
鈍感になるとのこと、そこでその摂取方法
について説明があり、盛夏の時期、皆さん
しっかり聴講されていました。

次に、谷口小夜子氏/大代地区社協会計
担当/介護福祉士等有資格者の援助によ
る輪投げのゲームが行われ、点数の競争で、
逆転劇などもあり、皆様一喜一憂され、ゲ
ームに興じておられました。

そして、お昼となり、仕出し弁当をおい
しそうに食しておられました。

食事後、送迎の車が来るまで、お休み(お
昼寝)タイムでした。

このさくらんぼ教室は、平成12年頃より
今日に至るまで継続されている伝統ある
介護予防の活動の一つです。

参加させて頂いて残念に思ったことは、
男性の利用者が一人も出席されていなか
ったことでした。男性は本来、照れ屋なの
かなと思いました。

(2) 大代のサロンの集いについて



大代には、現在、健康サロン(代表者森
孝枝)、お楽しみサロン(代表者横田美恵
子)、きずなグループ(代表者佐藤京子)、
水井出の郷(代表者高村玲子)と、それぞ

れの集まりがあります。現在、社会参加の
 少なくなった人は、さくらんぼ教室を含め、
 いずれかの門戸をたいてください。各ス
 タッフが待っています。

（3）敬老会について

9月10日、敬老会を予定しています。
 町内の75歳以上の方を祝福するものです。
 75歳未満の私たちが挙って祝福させて頂
 きますので、必ず出席してください。
 なお、75歳未満の町内の方、敬老会へ
 の協力をお願いします。

俳句

あすなる句会



椿 花田時子
 万緑や 揺られゆられて バスの旅
 雨近し まずは済ませる 溝浚へ
 田の辺り 一畳ほどの 菖蒲園
 青山椒 料理引き立て 香りおり
 汗ひいて 一枚羽織る 日暮かな
 遠雷の どこか切ない 夜の静寂

椿 柿丸寿枝
 目に見へぬものに追はれる梅雨の日々
 控え目に 諸草の中 青鬼灯

トピックス

開店記念イベント

去る7月2日（日）高山そば道場・直売
 所の合同開店記念イベントが開催されま
 した。よもぎ餅のもちつき販売と、七転八
 起の会の焼き鳥などで賑わいました。9升
 のよもぎ餅もお客様に待っていたくださ
 の大好評で、はやばやと完売しました。
 ありがとうございます。



 * 8月行事予定 *



▼13日（日）都市とふるさとを結ぶ交流会
 ピザ作り 朝9時半から

神楽大会・盆踊り 夕方6時から

▼20日（日）社協会議

▼22日（火）さくらんぼ教室

▼23日（水）連合自治会

お知らせ

大代高山会より

大阪市 田中公道 様

先日、御厚志を頂きました。厚くお礼申
 上げます。

編集後記

毎日暑い日々が続いています。先日の豪
 雨災害で、被災された方々にはお見舞い申
 し上げます。梅雨明けと共に子供たちの夏
 休みも始まり、気が付くといっぱいのセミ
 の声が響いています。8月13日の「都市と
 ふるさとを結ぶ交流会」にはお出かけた
 できますようお待ちしております。